

2025年2月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

東証スタンダード | 3223

株式会社エスエルディー

2024年10月25日



目次

01

会社概要

02

事業内容

03

2025年2月期第2四半期決算概要

04

トピックス

05

今後の取り組み

会社概要

商号	株式会社エスエルディー SLD Entertainment, Inc.
代表者	有村 譲
設立	2004年1月6日
資本金	48,876千円(2024年2月28日現在)
所在地	〒108-0014 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル
連絡先	03-6866-0245
従業員数	正社員:127名 アルバイト:782名 (2024年2月29日現在)
事業内容	飲食サービス コンテンツ企画サービス



事業内容

■ 飲食サービス

店舗の立地や特性に合わせた様々なブランドの飲食店を開発し、関東、東北、東海、近畿、九州地域の繁華街エリアを中心に直営店舗を展開しています。特に「kawara CAFE & DINING」などのカフェダイニング業態に注力。音楽、アート、食に焦点を当て、常に楽しんでいただけるサービスを提供し、カルチャーコンテンツが豊富な店舗づくりを行っています。

■ コンテンツ企画サービス

コラボレーションイベントに特化した店舗運営や店舗プロデュースサービス、イベント企画等を行っています。特に「Collabo_Index」では、IPコンテンツを用いた期間限定のコラボイベントを企画・運営。また、「プロユース」では、新規及び既存顧客の創出を目指し、店舗や屋外スペースの企画・運営を行っています。

飲食サービス

売上構成比率

71.4%

コンテンツ企画
サービス

売上構成比率

28.6%

決算サマリー

社会活動並びに経済活動の正常化が進み、各社賃上げや政府による定額減税政策が実施され個人所得が増加したものの、エネルギー価格の高止まりや物価の上昇により個人消費は限定的で、依然として先行き不透明な状況が続いております。

【飲食サービス】

定期的なIPコンテンツとのコラボイベントの実施、季節限定の商品の提供することにより、お客様満足度の向上を実現し、このような取り組みを加速することにより、当サービスの売上高は1,361百万円となりました。

【コンテンツ企画サービス】

運営受託店舗のキャラクターカフェにおいて、当該四半期においてもアジア圏の訪日外国人観光客に引き続き、ご好評いただいたことにより好調な推移となりました。

その結果、当サービスの売上高は544百万円と前年を越えることができました。

売上高

1,906百万円

前年度比 +2.7%

営業利益

98百万円

前年度比 +17.8%

飲食サービス

1,361百万円

前年度比
+3.3%

コンテンツ企画サービス

544百万円

前年度比
+1.3%

損益計算書(P/L)

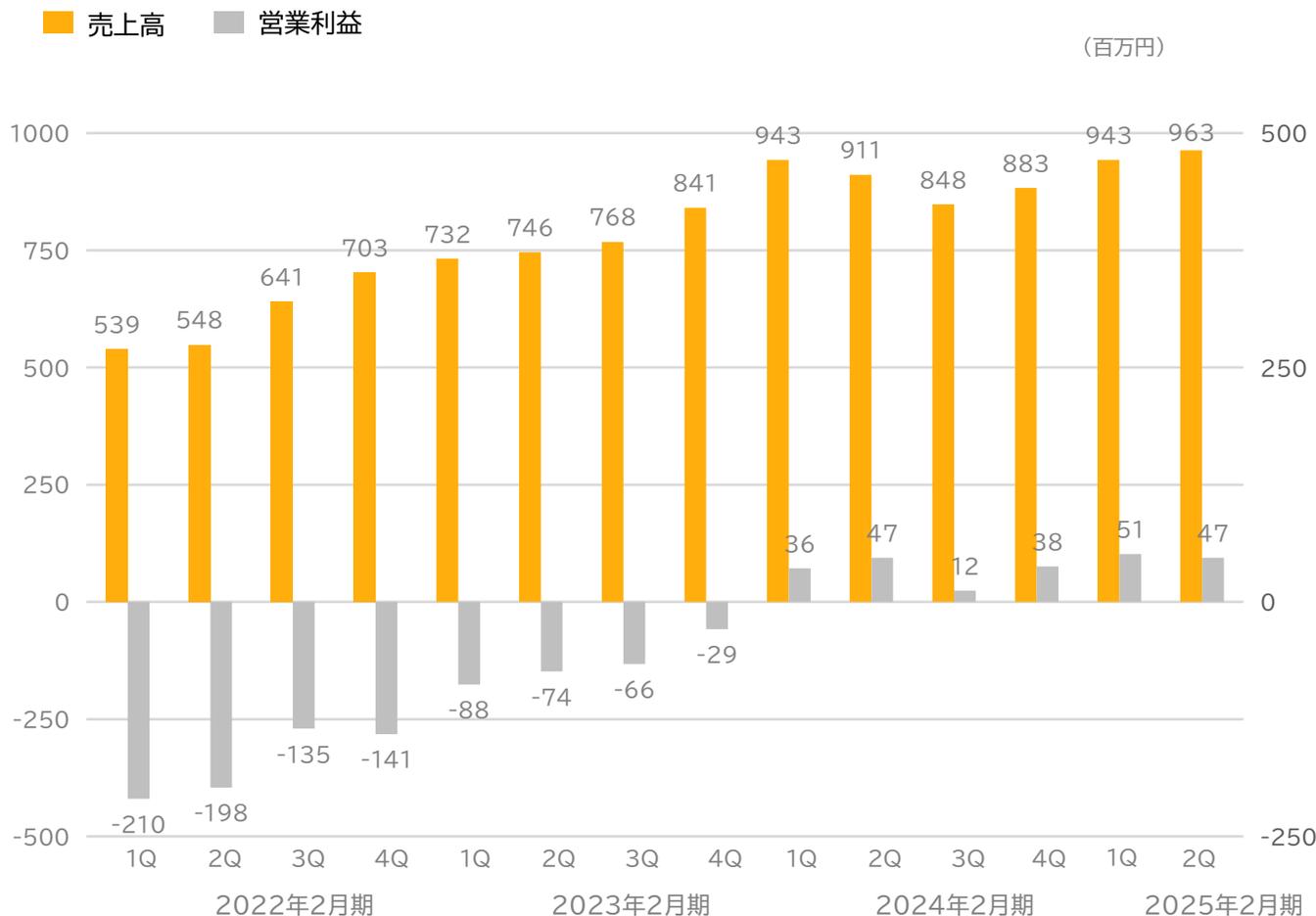
当第2四半期累計期間における業績は、
 売上高1,906百万円(前年同期比2.7%増)
 営業利益98百万円(前年同期比17.8%増)
 経常利益98百万円(前年同期比9.9%増)
 四半期純利益95百万円(前年同期比16.8%増)
 となり、2019年2月期に決算期変更しているもの
 の第2四半期累計期間においては、株式上場以
 来の最高益を更新することができました。

(百万円)	2024年 2月期	2025年2月期					前期比率
	第2四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	
売上高	1,855	943	1,906	—	—	—	2.7%
営業利益	83	51	98	—	—	—	17.8%
経常利益	89	49	98	—	—	—	9.9%
当期純利益	81	48	95	—	—	—	16.8%

売上高・営業利益の 四半期推移

当第2四半期において、飲食サービスにおいて期間限定のIPコンテンツを活用したコラボレーションカフェの実施、既存店において、季節限定の商品の提供することにより、お客様満足度の向上を実現し、このような取組みを加速することにより、多くのお客様に店舗をご利用いただきました。

このような取り組みの結果、当第2四半期において、売上高前年同期比105.7%となりました。



セグメント別状況

飲食サービス

お客様に安心して飲食を楽しめる空間を提供するために、更なる「CS(顧客満足度)と収益力の向上」を掲げ、当該四半期も推進してまいりました。

「食」×「コンテンツ」をテーマに掲げた期間限定のコラボカフェの実施、ライフスタイルに合わせた「季節限定の商品」の提供等、このような取組みを加速することにより、飲食サービスの業績は好調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期におちて、当サービスの売上高は1,361百万円となりました。

コンテンツ企画サービス

運営受託店舗のキャラクターカフェを中心に、アジア圏の訪日外国人観光客にご好評いただき、店舗売上が増加したことによる業務委託費の増加により、収入が増えたことにより、前事業年度を越え、544百万円となりました。

(百万円)	2024年2月期第2四半期		2025年2月期第2四半期		前期比率	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	増減	率(%)
飲食サービス	1,317	71.0	1,361	71.4	44	3.3%
コンテンツ企画サービス	537	29.0	544	28.6	7	1.3%
合計	1,855	100.0	1,906	100.0	51	2.7%

貸借対照表(B/S)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2024年8月31日)	増減
資産の部			
流動資産	676,196	755,122	78,926
現金及び預金	321,031	330,589	9,558
売掛金	274,196	329,259	55,063
原材料及び貯蔵品	18,841	19,079	238
前払費用	26,417	28,440	2,023
未収入金	4,615	10,937	6,322
1年内回収予定の差入保証金	12,850	11,854	△996
その他	18,243	24,962	6,719
固定資産	367,036	371,621	4,585
有形固定資産	52,987	58,823	5,836
建物	45,196	48,372	3,176
機械及び装置	0	0	0
工具、器具及び備品	7,791	10,450	2,659
建設仮勘定	—	—	—
無形固定資産	545	246	△299
投資その他の資産	313,503	312,552	△951
繰延資産	5,091	2,314	△2,777
資産合計	1,048,323	1,129,058	80,735

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2024年8月31日)	増減
負債の部			
流動負債	586,664	603,309	16,645
固定負債	75,835	76,234	399
負債合計	662,499	679,543	17,044
純資産の部			
株主資本合計	384,823	448,515	63,692
新株予約権	1,000	1,000	0
純資産合計	385,824	449,515	63,691
負債純資産合計	1,048,323	1,129,058	80,735

業績予想

売上においては、既存店の更なる成長及びIPコンテンツを活用する取り組みの加速、新規の運営受託獲得を進めて増収を目指します。

また、営業利益においても、既存店の収益改善を進めると共に、グループシナジーを活かして、販管費の抑制することで、事業の収益性を高め、その結果増益を予想しております。

	2023年2月期 (実績)	2024年2月期 (実績)	2025年2月期 (予想)	増減率
売上高	3,090	3,585	3,600	0.4%
営業利益	△259	133	151	13.5%
営業利益率	△8.3%	3.7%	4.1%	+0.4%
経常利益	△188	138	151	9.4%
当期純利益	△238	177	141	△20.3%

トピックス

当第2四半期総括

- 飲食サービスにおいては、期間限定のIPコンテンツとのコラボレーションカフェが好調に推移したことと合わせ、既存店において、季節限定の商品の提供により、客単価の向上に成功した結果、既存店前年比を大きく越えた結果となりました。
- コンテンツ企画サービスにおいては、キャラクターコンテンツの運営受託店舗のインバウンド需要の増加により、運營業務受託店舗の売上が上がることによる受託費が増加した結果、利益率において、前年同期比3.2%成長となりました。

引き続き、当社におきましては、「To Entertain People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、「食で好きをもっと楽しく」の実現を経営方針として掲げ、飲食サービスの健全な成長とコンテンツ企画サービスの拡大を実施してまいります。

飲食サービス

既存店前年売上比

110.4%

売上構成比率
71.4%

期間限定
コラボレーションカフェ

7

第2四半期累計実施コンテンツ数

収益性の改善

前期比
改善率 **0.6%**

販管費配賦前営業利益率

コンテンツ企画サービス

常設コラボカフェにて
コラボ実施

23

通期コンテンツ
2024年2月期は20コンテンツ

キャラクターコンテンツ店舗
インバウンド需要増

10%

2024年2月期比

運営受託店舗の売上変動受託費増
により、利益率の向上

3.2%

2024年2月期比

事業トピックス:期間限定コラボレーションカフェ実施

コラボレーションカフェ

実施店舗

TVアニメ『ダンジョン飯』コラボカフェ東京・池袋で開催



作品に登場する迷宮グルメを再現したメニューに、珍しい食材を使った創作料理とアニメの世界観を体験できるカフェを開催



事業トピックス: 季節限定メニューの販売

飲食サービス

実施店舗

顧客のニーズに合わせた継続的なメニュー提案



【チーズ専門店CheeseTable】

チーズと桃のコンビネーションを楽しむ夏限定の期間限定メニューを販売

【HangOutHangOver】

日本刀をてっぺんから突き刺し、食欲をそそる武者(むしゃ)バーガー新発売



今後の取り組み

飲食サービス事業・コンテンツ企画サービス事業ともに、IPコンテンツを活用した取り組みや企画提案を強化していきます。

IPコンテンツビジネスに留まらず、様々な店舗の業務受託を通じた新たな取り組みへの挑戦、当社の既存ブランドの新規出店などを戦略的に行い、更なる収益向上を目指します。

飲食サービス事業

IPコンテンツを活用した 取り組み強化



南海電気鉄道株式会社が2024年4月にオープンする『なんばパークスミュージアム』で開催されるイベントと連動した内容で企画するコラボレーションカフェを2024年4月19日（金）より、#702 cafe&diner なんばパークス店内一部スペースにて「美少女戦士セーラームーン ミュージアムカフェ」を開催。今後もIPコンテンツを活用した取り組みを強化して事業の成長へつなげてまいります。

既存ブランドの出店



トップラインを引き上げ、 更なる収益向上

コンテンツ企画サービス

IPコンテンツを活用した企画提案 を自社店舗以外への提案 (グループ会社含めて他社との協業)



既存業務受託(ポケモン社等) 含め新しい取り組みを加速



本資料の 取り扱いについて

本資料に記載された内容は、本資料の作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料において提供される情報は、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的に当該情報とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

本資料における将来の展望に関する表明は、今後の将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新・変更するものではなく、また、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料の更新・変更をおこなう義務を負うものではありません。

本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。

IRに関するお問い合わせ

株式会社エスエルディー 人事総務部

TEL 03-6866-0245

<https://www.sld-inc.com/>